

ミズベリング構想 第2回NTT用地周辺活用策検討会議概要

開催日時：平成29年6月14日（水）午後3時 開会

開催場所：笛吹市役所本館 301会議室 委員25名出席

冒頭、市長あいさつでは、昨年11月の市長就任後、3月議会で、承認をいただき、NTT用地を購入した。すぐに「何を造る。」とは言えないが、慎重に進めなければならない。1～2年の時間をいただく中で、皆様からのご意見をいただき、最終的に結論を導き出したい。

購入にあたっては、議会から多くのご意見をいただいた。

また、今後の検討期間の1～2年の間に、用地を皆様に使っていただき、イメージをつくっていただき、ご意見をいただく中で、進めていきたい。

今回の会議は、ミズベリング構想ということだが、ミズベリング構想の中で、旧NTT用地の活用策を検討することについて、市民の皆様から分かり難いとの意見があり、今後は、用地の活用策検討について、ミズベリング構想と切り離して、ワークショップにて検討を進めることとした。

これまでのNTT用地周辺活用策検討会議は、ミズベリング構想検討会議と改名して、引き続き、笛吹川親水護岸整備、近津用水沿いの賑わいづくり等について、検討を行う旨の挨拶がありました。

その後、議事に入りました。まず、議事の2件について一括して説明し、質疑応答を行いました。

（議事）

- 3 これまでの経過について
- 4 今後の検討会の進め方について

【説明内容】

- ・事務局より資料に基づき一括説明

【質疑応答】

- ・用地をイベント等で借りることができるとのことだが、使用料やその他の決まりがあるか。

⇒使用料は無料。用地の整地、水道を使えるようにするため、現在、6月議会に予算を

要求している。電気、トイレについては、発電機、仮設トイレをイベント開催者に準備していただく。

⇒民間の方々に、色々なことに使っていただきたい。それを見ている、または、参加している市民が、「こういう使い方ができるのではないか。」というイメージを湧かしていただきたい。

・勝沼の朝市は、現在、220社（個人も含む）が出展し、スペースに限りがあるので、200社が出展を待っている状況。

せっかくの機会なので、お金をかけず、市民が協力し、笛吹市（ふえふきいち）を盛り上げながら実施していただきたい。

⇒研究しながらきっかけづくりを考えていくが、行政の丸抱えは考えていない。

・労報橋の架け替え工事が11月末までに仕上がる。周辺道路の問題がある。石和郵便局前の道路の拡幅について、市で計画してもらえないか。

⇒日本郵政に石和郵便局の移転について相談したが、数年前に局舎の改修工事をしたばかりなので移転の考えは無いとの回答をいただいた。

・中銀石和支店から、駅前通りに抜ける一方通行の道の拡幅について、一部の用地を購入済みであり、あと一部の土地を購入すれば、拡幅できる。ぶどう棚を撤去してあり、補償する物件も無いので、なんとか拡幅計画を進めてもらいたい。

⇒用水路の問題もあり、検討させていただきたい。

・イベント用のトイレ、電気、については市の負担で準備していただきたい。

⇒暫定的な旧 NTT 用地の貸し出し期間は、1～2年である。仮設トイレを置きっ放しにすると匂いの問題があり、清掃の必要もある。電気の使用量のカウントもできない。したがって、発電機、仮設トイレの準備は、開催者の負担でお願いしたい。

・これまで検討会に全て出ているが、検討結果が報告されていない。

今までの検討経過、課題、宿題に対する回答が報告されていない。繋がりのある会議を行っていただきたい。

⇒資料の中に、これまでの意見を集約した活用案として計画図面を添付してある。今後は、会議の概要をまとめ、報告させていただく。

・1～2年の検討期間に、多くの意見が出ると思う。これまでは、「集客力のある施設。」という条件で検討を進めてきたが、今後、いくつかの条件を付けて議論しないと、意見が出ても決まらない。専門家会議をもっていくつかの条件付けをしないと、事務局だけ

ではその作業は難しいと思う。

⇒市が様々な意見をまとめて、検討会の皆様にもアンケートにご協力いただき、事務局案をいくつかまとめる方向でイメージを持っている。あまり条件を付けて絞ってしまうと、「計画ありき。」になってしまうので、あくまでも白紙の段階から意見をお聞きする。

・公共の事業を進めるうえで、行政と市民の信頼関係無ければ、事業は進まない。市民に訴えかけることが最初に必要で、検討会の場だけで終わらないで、色々な場で、風通しよく市民に情報を伝えながら、「市民のため、子どもたちの為に、こうなってもらいたい。」という市民のうねりのようなものがなければ、大きな事業を進めることは難しい。

・雨が降るとイベントが中止になるという話を聞く。雨が降ってもイベントができる施設があれば、全国大会等を誘致して宿泊施設を利用する客が増える。甲府市にも同様の既存施設があるが、駅から遠く、宿泊施設も店等も少なく、旧 NTT 用地の立地は良い場所と考える。

・「観光客が利用しやすい。」と言うと、市民からの理解が得られない。観光客も、市民も一緒に利用できる施設、場所でなければ理解が得られない。また、検討会議だけで、用地の活用策をまとめていくのは難しい。

笛吹物語のプロジェクトチームには、より良い市をつくろうと真剣に考える若者が多くいる。次代を担う若者の意見を取り込むために、笛吹物語プロジェクトチームに用地活用策のプランについて意見を求めてはどうか。

⇒旧 NTT 用地も笛吹物語の一つと思っているが、この件については、考えさせていただきたい。

・観光だけでなく、農業等に従事している方の意見も取り入れて検討することが必要。

(事務局)

・繰り返しになるが、旧 NTT 用地の活用策の検討については、ワークショップ形式で検討を進めたいと考えており、決定している。まず、ワークショップの席で自由な議論をしていただき、議論の結果を市長の判断材料にしたいと考える。ついでには、委員の皆様もワークショップにご参加いただき、ご意見、アイデアをいただきたい。

また、このミズベリング構想検討会議は、ミズベリング全体のことを検討する会議ということで存続する。今後は、笛吹川親水護岸整備が主な課題になってくるかとは思いますが、ご協力をお願いしたい。

・「旧 NTT 用地」と言わず、名称を考えて、周知徹底を図っていただきたい。

・「整地」は、どの程度整地するのか。

⇒NTT 局舎から東側部分が、段差があったり、不整地になっているので、その部分を平らにする程度。

・「6 月にクラシックカーフェスティバルの駐車場に利用する。」とのことだが、労報橋の工事中だが問題ないか。

⇒労報橋架け替え工事が完成した以降、資料 P5 に示したとおり、周辺道路の整備を順次行う予定。道路整備により、進入できなくなる場所もあるが、旧 NTT 用地への出入り口は確保する。

・イベントに使用する給排水の確保は大丈夫か。

⇒NTT が従前使用していた上水、下水の引き込みがあり、現在、閉栓になっている。6 月補正での予算が承認されて、執行できる段階になったところで、開栓して使用する。

・水辺カフェの実証実験について、検証結果を知りたい。

⇒商工観光課が実証実験を行っており、売上げについての細かな数字は持っていない。暑い時期からオープンできればよかったが、秋口からのオープンになってしまい、水辺の良い時期を逃してしまった。よって、売上げは少なかったと聞いている。

・イルミネーションの検討の際にも話をしたが、石和に和の風情を感じている。若い世代は、こだわりを持った方が多くいる。若い世代の意見を聞いて、取って付けたものではなく、和にこだわった重厚感のあるまちづくりをしていきたい。川越、鎌倉等のまちづくりを参考にしたい。

・あつという間にオリンピックの開催が近くなってきた。「オリンピックの際に、どうなっていたいのか。」という完成イメージを共有する必要がある。

・旧 NTT 用地の活用策が、市民向けか、来訪者向けか、市民の捉え方と、来訪者の捉え方にギャップがある。「数字データで笛吹モデルの計画に協力できれば。」と考える。

これまで、「NTT 用地周辺活用策検討会議」ということで検討を進めてきたが、今後は、「ミズベリング構想検討会議」という形で、改名して検討を継続していく。

引き続きご協力をお願いしたい。

午後 4 時 30 分閉会